

# 平成30年度・内航タンカー船員実態調査報告書

平成31年4月3日

全国内航タンカー海運組合

船員対策委員会

— 目 次 —

はじめに	…	1
1. 回答状況	…	2
2. 年齢構成（乗・下船中の分類）	…	4
3. 年齢別船員数及び割合の推移（10年間）	…	5
4. 総トン数・船種別平均年齢（乗船中船員）	…	6
5. 職種別平均年齢（乗・下船船員の合計）	…	9
6. 入社歴及び前職	…	10
7. 採用・退職関係	…	13
8. 海技免状保有状況	…	16
9. 船舶料理士保有状況	…	16
10. 船員不足の考察	…	17
11. 組合員各社に向けての提言	…	18

はじめに

全国内航タンカー海運組合では、船員の高齢化に伴い、若年船員の確保、船員不足への対応、及び関係者の理解促進に役立てることを目的に、平成17年に第一回目の調査を開始以後、毎年、**10月1日現在**における内航タンカーに乗船中の船員及び下船中船員の年齢構成、採用・退職状況等を調査しています。

平成30年度も、運送事業者(オペレーター)を経由して船主(オーナー)に調査票の提出ご協力をお願いいたしました。今年度も回収率を上げるべく、本部・支部事務局、対象事業者の協力を得て何度も提出をお願いしました結果、**回収率は79.6%(対象1,021隻の内、813隻の回答)**と、**前年度78.1%(対象1,049隻の内、819隻の回答)**を若干上回ることが出来ました。

回収率の内訳をみると、船型では**200G/T未満の小型船(回収率61.9%)**、船種では**特タン船(回収率65.3%)**の回収率が低いため、例年通りの課題ではありますが、小型船、特タン船の乗組員数が比較的少ない点、他の船型、船種では満遍なく回収されている点を考慮すると概ね実態が反映される回収率と思われまます。

今回の調査から推計される船員総数は、**8,946名(前年度9,001名)**で前年比**約55名減**となりました。これは、減船により対象隻数が減ったこと(**1,049→1,021隻**)が直接的な要因かと思われまますが、**新卒採用**が引き続き好調なこと(**296→320名**)、**平均乗員数(6.8→6.7名)**、**予備員率(1.35→1.36名)**もほぼ維持されていることから、若年船員を船内で育てていこうという良い傾向に変化はないものと思われまます。

また、今回の調査による船員の**平均年齢は46.8才(前年度47.4才)**で、**0.6歳の若返り**となりました。これは、各社の若年船員等の採用増による若年世代の増加(**30才未満割合18.5→19.9%**)と、**55～65歳の年齢構成(27.5%)**が多くなっている状況から、退職者の絶対数も増加していることが要因かと思われまます。**(定年退職126→284名)**

長年にわたり内航タンカー業界を支えて来た団塊世代の船員は、既に多数退職時期を迎えており、中堅世代を他業種から採用することが難しい現状においては、若手船員を採用し育成していかなければならないことは明白であります。このため、当委員会といたしましても、各種対策を実行することにより、組合員各社の船員問題への対応をサポートしていきたいと思っております。

最後になりますが、本調査にご協力をいただきました、運送事業者、船主の船員担当者の方々に、改めて厚くお礼を申し上げますとともに、今後ともご協力下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

全国内航タンカー海運組合  
船員対策委員会  
委員長 内藤 吉起

## 1. 回答状況

(1)対象隻数 : 1,021隻

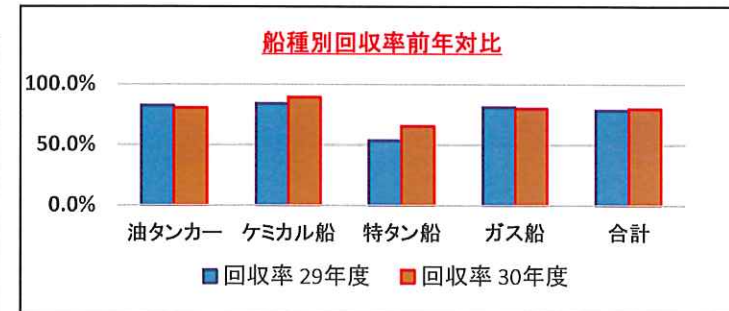
(2)回答隻数 : 813隻 (回収率:79.6%)

※調査票の回収方法は、内航総連合会の「構造改善対策賦課金」の徴収対象船舶リストにより、運送事業者に船主分の調査票の配布回収を依頼し実施。

※回収率79.6%の内訳は下段表のとおり。(特タン船、小型船の事業者からの提出割合が低い)

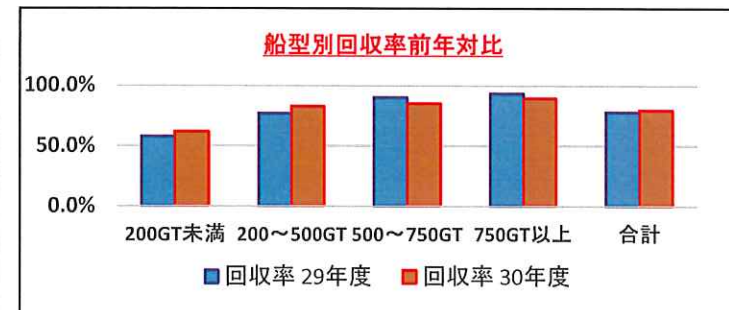
## (3)船種別回答内訳

	調査対象隻数		回答隻数		回収率	
	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度
油タンカー	591	566	486	455	82.2%	80.4%
ケミカル船	179	181	150	161	83.8%	89.0%
特タン船	154	150	82	98	53.2%	65.3%
ガス船	125	124	101	99	80.8%	79.8%
合計	1,049	1,021	819	813	78.1%	79.6%



## (4)船型別回答内訳

	調査対象隻数		回答隻数		回収率	
	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度
200GT未満	286	257	165	159	57.7%	61.9%
200～500GT	322	326	248	270	77.0%	82.8%
500～750GT	182	183	164	156	90.1%	85.2%
750GT以上	259	255	242	228	93.4%	89.4%
合計	1,049	1,021	819	813	78.1%	79.6%



## (5)回答船員数

( )は前年度船員数を示す。

合計(乗船中・下船中)7,444名(7,521名) ①乗船中の船員数5,461名(5,573名) ②下船中の船員数1,983名(1,948名)

## (6)内航タンカー船員の総計(推計)

上記船員数に各船種、船型別の回収率から算出した推計船員数と予備員率を乗じた内航タンカー全船での船員数は以下の通り推計される。

合計(乗船中・下船中)8,946名(9,001名) ①乗船中の船員数6,563名(6,670名) ②下船中の船員数2,383名(2,331名)

※ 前年度より推計船員数が55名少ないのは、対象隻数の減少(△28隻)によるものと推計される。



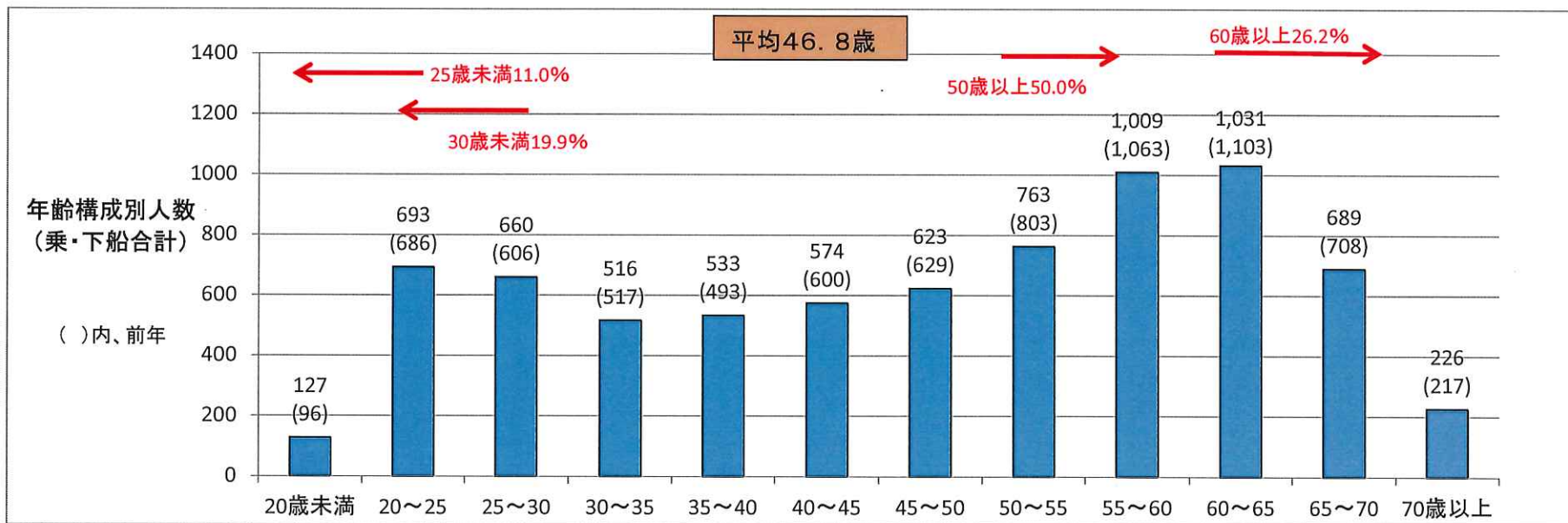
## ◎ 回答状況(詳細)

乗船中船員の集計	船種	船型区分 G/T	対象隻数	回答隻数	回収率	回答船員数	平均乗員数	推計船員数
			①	②	③ (②/①)	④	④/②	⑤ (④/③)
	油タンカー	200未満	199	125	62.8%	416	3.3	662
		～500未満	112	95	84.8%	504	5.3	594
		～750未満	60	55	91.7%	397	7.2	433
		～1000未満	41	39	95.1%	345	8.8	363
		～1600未満	7	7	100.0%	69	9.9	69
		～3000未満	32	28	87.5%	302	10.8	345
		3000以上	115	106	92.2%	1,223	11.5	1,327
	小計	566	455	80.4%	3,256	7.2	3,793	
	ケミカル船	200未満	4	3	75.0%	9	3.0	12
		～500未満	138	125	90.6%	683	5.5	754
		～750未満	35	29	82.9%	187	6.4	226
		～1000未満	0	0	0.0%	0	0.0	0
		～1600未満	2	2	100.0%	23	11.5	23
		～3000未満	1	1	100.0%	9	9.0	9
		3000以上	1	1	100.0%	13	13.0	13
	小計	181	161	89.0%	924	5.7	1,037	
	特効船	200未満	54	31	57.4%	123	4.0	214
		～500未満	65	41	63.1%	208	5.1	330
		～750未満	26	22	84.6%	148	6.7	175
		～1000未満	3	2	66.7%	19	9.5	29
		～1600未満	2	2	100.0%	18	9.0	18
～3000未満		0	0	0.0%	0	0.0	0	
3000以上		0	0	0.0%	0	0.0	0	
小計	150	98	65.3%	516	5.3	765		
ガス船	200未満	0	0	0.0%	0	0.0	0	
	～500未満	11	9	81.8%	43	4.8	53	
	～750未満	62	50	80.6%	337	6.7	418	
	～1000未満	32	28	87.5%	249	8.9	285	
	～1600未満	7	3	42.9%	31	10.3	72	
	～3000未満	8	6	75.0%	69	11.5	92	
	3000以上	4	3	75.0%	36	12.0	48	
小計	124	99	79.8%	765	7.7	967		
合計	200未満	257	159	61.9%	548	3.4	889	
	～500未満	326	270	82.8%	1,438	5.3	1,731	
	～750未満	183	156	85.2%	1,069	6.9	1,252	
	～1000未満	76	69	90.8%	613	8.9	676	
	～1600未満	18	14	77.8%	141	10.1	182	
	～3000未満	41	35	85.4%	380	10.9	446	
	3000以上	120	110	91.7%	1,272	11.6	1,388	
合計	1,021	813	79.6%	5,461	6.7	6,563		
下船中船員の集計					回答船員数 ⑥	予備員率 ⑦(⑥/④+1)	推計予備員数 ⑧(⑤×⑦-⑤)	
					1,983	1.36	2,383	
総合計 (⑤+⑧)				回答数計	7,444	推計船員数	8,946	

## 2. 年齢構成(乗・下船中の分類)

## (1) 年齢区分別人数

		20歳未満	20～25	25～30	30～35	35～40	40～45	45～50	50～55	55～60	60～65	65～70	70歳以上	計
乗船中	人数	71	489	483	379	401	436	469	571	734	755	516	157	5,461
	年齢計	1,325	10,818	13,015	12,110	14,816	18,362	22,043	29,751	41,904	46,738	34,434	11,335	256,651
	平均年齢	18.7	22.1	26.9	32.0	36.9	42.1	47.0	52.1	57.1	61.9	66.7	72.2	47.0
	比率	1.3%	9.0%	8.8%	6.9%	7.3%	8.0%	8.6%	10.5%	13.4%	13.8%	9.4%	2.9%	100%
下船中	人数	56	204	177	137	132	138	154	192	275	276	173	69	1,983
	年齢計	1,043	4,479	4,745	4,378	4,856	5,778	7,234	10,008	15,722	17,121	11,574	4,972	91,910
	平均年齢	18.6	22.0	26.8	32.0	36.8	41.9	47.0	52.1	57.2	62.0	66.9	72.1	46.3
	比率	2.8%	10.3%	8.9%	6.9%	6.7%	7.0%	7.8%	9.7%	13.9%	13.9%	8.7%	3.5%	100%
合計	人数	127	693	660	516	533	574	623	763	1,009	1,031	689	226	7,444
	年齢計	2,368	15,297	17,760	16,488	19,672	24,140	29,277	39,759	57,626	63,859	46,008	16,307	348,561
	平均年齢	18.6	22.1	26.9	32.0	36.9	42.1	47.0	52.1	57.1	61.9	66.8	72.2	46.8
	比率	1.7%	9.3%	8.9%	6.9%	7.2%	7.7%	8.4%	10.2%	13.6%	13.9%	9.3%	3.0%	100%
女性船員(上記の内数)	0	19	10	1	2	1	5	2	0	1	0	1	42	
前年比5名増、平均年齢30.6歳、甲板職員21名(内、船長1名、一航6名)、甲板部員12名、機関職員8名(内、機関長3名)、機関部員1名														
派遣船員(上記の内数)	3	41	25	22	20	23	24	40	42	68	50	26	384	
前年比48名増、平均年齢59.8歳、甲板職員159名、甲板部員79名、機関職員100名、機関部員13名、司厨員33名														



① 全船種平均年齢(乗・下船合計)は**46.8歳**(前年度47.4歳)で、0.6歳若返った。

② 要因として、30歳未満の若年船員がここ数年各社の積極的な新卒採用により増加していることと、60歳以上船員の退職者が増加していることが考えられる。



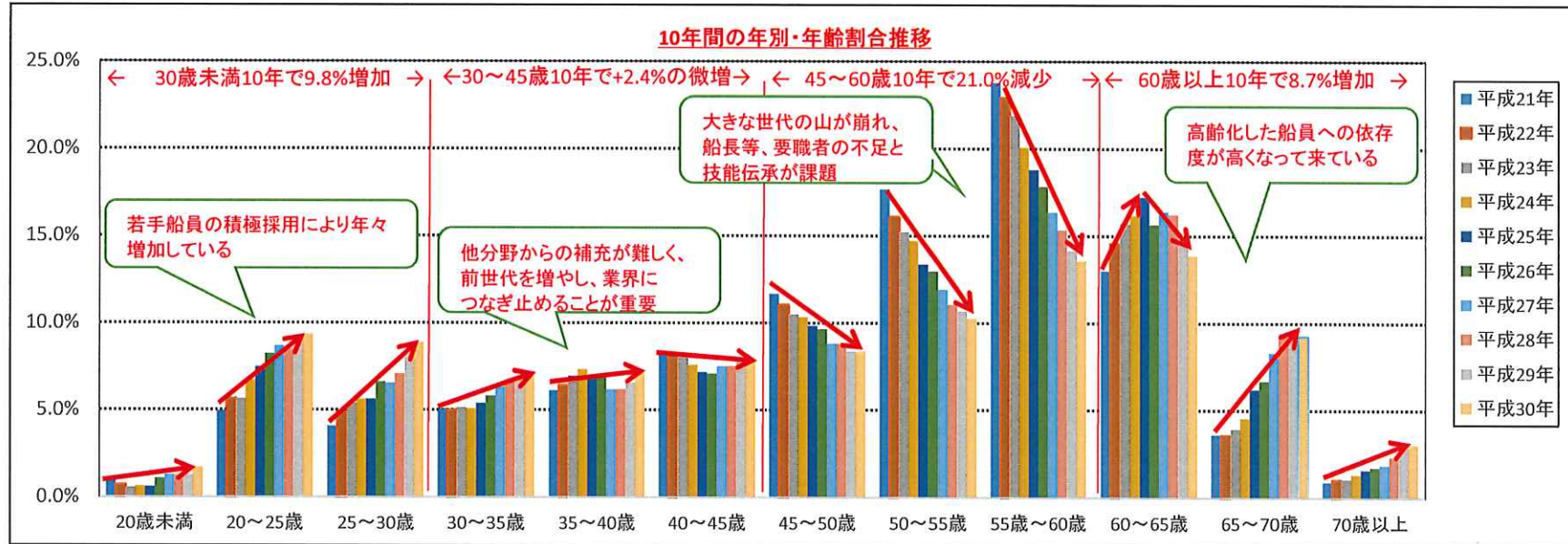
3. 年齢別船員数及び割合の推移(10年間)

(1) 年齢別船員数

	20歳未満	20～25歳	25～30歳	30～35歳	35～40歳	40～45歳	45～50歳	50～55歳	55歳～60歳	60～65歳	65～70歳	70歳以上	報告船員数
平成21年	82	375	308	384	464	624	886	1,342	1,808	987	274	68	7,602
平成22年	48	390	336	344	442	566	762	1,111	1,582	1005	247	71	6,904
平成23年	38	385	367	349	475	551	715	1,037	1,494	1,070	268	72	6,821
平成24年	42	453	379	342	493	512	696	992	1,354	1,092	306	89	6,750
平成25年	39	495	372	356	453	475	651	885	1,246	1,142	410	105	6,629
平成26年	75	575	462	405	478	495	674	906	1,247	1,095	467	120	6,999
平成27年	85	578	436	421	411	500	587	795	1,092	1,095	554	124	6,678
平成28年	95	643	535	500	468	570	667	837	1,161	1,229	699	177	7,581
平成29年	96	686	606	517	493	600	629	803	1,063	1,103	708	217	7,521
平成30年	127	693	660	516	533	574	623	763	1,009	1,031	689	226	7,444
合計	727	5,273	4,461	4,134	4,710	5,467	6,890	9,471	13,056	10,849	4,622	1,269	70,929

(2) 年齢別船員割合

	20歳未満	20～25歳	25～30歳	30～35歳	35～40歳	40～45歳	45～50歳	50～55歳	55歳～60歳	60～65歳	65～70歳	70歳以上	合計
平成21年	1.1%	4.9%	4.1%	5.1%	6.1%	8.2%	11.7%	17.7%	23.8%	13.0%	3.6%	0.9%	100.0%
平成22年	0.7%	5.6%	4.9%	5.0%	6.4%	8.2%	11.0%	16.1%	22.9%	14.6%	3.6%	1.0%	100.0%
平成23年	0.6%	5.6%	5.4%	5.1%	7.0%	8.1%	10.5%	15.2%	21.9%	15.7%	3.9%	1.1%	100.0%
平成24年	0.6%	6.7%	5.6%	5.1%	7.3%	7.6%	10.3%	14.7%	20.1%	16.2%	4.5%	1.3%	100.0%
平成25年	0.6%	7.5%	5.6%	5.4%	6.8%	7.2%	9.8%	13.4%	18.8%	17.2%	6.2%	1.6%	100.0%
平成26年	1.1%	8.2%	6.6%	5.8%	6.8%	7.1%	9.6%	12.9%	17.8%	15.6%	6.7%	1.7%	100.0%
平成27年	1.3%	8.7%	6.5%	6.3%	6.2%	7.5%	8.8%	11.9%	16.4%	16.4%	8.3%	1.9%	100.0%
平成28年	1.3%	8.5%	7.1%	6.6%	6.2%	7.5%	8.8%	11.0%	15.3%	16.2%	9.2%	2.3%	100.0%
平成29年	1.3%	9.1%	8.1%	6.9%	6.6%	8.0%	8.4%	10.7%	14.1%	14.7%	9.4%	2.9%	100.0%
平成30年	1.7%	9.3%	8.9%	6.9%	7.2%	7.7%	8.4%	10.2%	13.6%	13.9%	9.3%	3.0%	100.0%





4. 総トン数・船種別平均年齢(乗船中船員)

(1) 総トン数別平均年齢

	30年度				26年度 平均年齢	27年度 平均年齢	28年度 平均年齢	29年度 平均年齢	30年度 平均年齢
	隻数	船員数	平均乗員	年齢計					
200未満	159	548	3.4	27,677	52.0	52.9	52.3	51.8	50.5
500未満	270	1,438	5.3	71,921	51.2	51.4	51.3	51.1	50.0
750未満	156	1,069	6.9	52,524	50.1	50.2	50.6	49.5	49.1
1000未満	69	613	8.9	29,004	48.3	47.8	47.7	47.6	47.3
1600未満	14	141	10.1	6,222	47.5	44.9	44.2	44.1	44.1
3000未満	35	380	10.9	15,971	43.8	43.8	44.1	43.6	42.0
3000以上	110	1,272	11.6	53,332	42.7	42.7	42.8	42.5	41.9
合計	813	5,461	6.7	256,651	47.9	48.0	48.1	47.6	47.0

・本年度乗船中の平均年齢は若干若返り47.0歳であったが、船型別にみると、200GT未満船の50.5歳に対して3,000GT以上船は41.9歳であり、小型船／大型船では平均年齢に約9歳の開きがある。

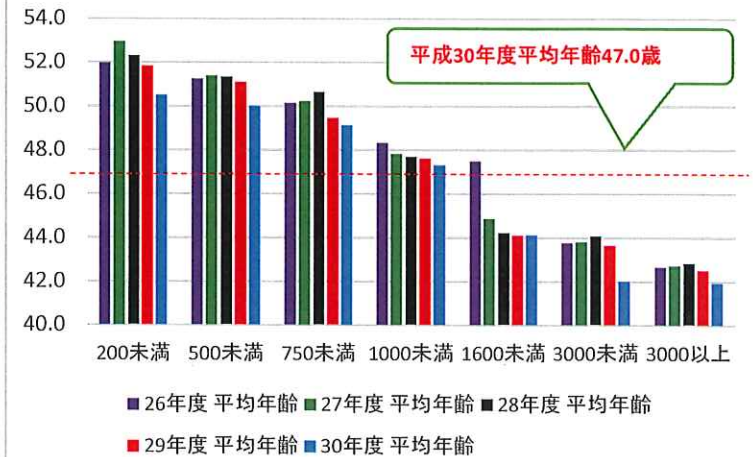
(2) 船種別平均年齢(乗船中)

	30年度				26年度 平均年齢	27年度 平均年齢	28年度 平均年齢	29年度 平均年齢	30年度 平均年齢
	隻数	船員数	平均乗員	年齢計					
油タンカー	455	3,256	7.2	149,050	47.2	46.7	47.1	46.4	45.8
ケミカル船	161	924	5.7	45,716	49.8	51.0	50.6	50.3	49.5
特タン船	98	516	5.3	25,916	49.2	51.9	50.6	51.2	50.2
ガス船	99	765	7.7	35,969	48.4	48.0	48.5	48.1	47.0
合計	813	5,461	6.7	256,651	48.6	48.0	48.1	47.6	47.0

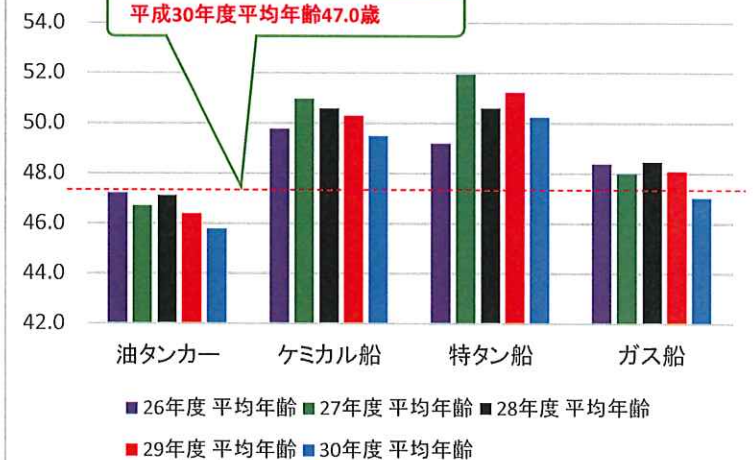
・平成30年度で平均年齢を下回るのは油タンカー(45.8歳)のみで、ガス船は平均と同じ(47.0歳)。

・ケミカル船と特タン船は平均より高齢化(約50歳)しているが、前年より多少若返った。

総トン数別平均年齢(5年間統計)(乗船中船員)



船種別平均年齢(5年間統計)(乗船中船員)





(年齢構成:船種別詳細①)

		20歳未満	20～25	25～30	30～35	35～40	40～45	45～50	50～55	55～60	60～65	65～70	70以上	計
白	200未満	1	6	9	10	10	9	20	10	16	18	19	11	139
	～500未満	0	8	12	12	11	16	13	22	21	24	28	5	172
	～750未満	4	18	20	25	30	21	21	42	43	52	27	8	311
	～1000未満	2	11	18	16	4	12	10	13	24	23	15	3	151
	～1600未満	1	4	4	3	7	7	2	6	8	7	7	2	58
	～3000未満	5	42	26	24	20	20	19	27	32	27	18	0	260
	3000以上	15	159	102	65	63	63	77	69	101	91	52	7	864
	人数	28	248	191	155	145	148	162	189	245	242	166	36	1,955
	年齢計	523	5,501	5,160	4,941	5,367	6,229	7,634	9,849	13,983	14,970	11,066	2,600	87,823
平均	18.7	22.2	27.0	31.9	37.0	42.1	47.1	52.1	57.1	61.9	66.7	72.2	44.9	
黒	200未満	0	8	21	20	28	30	35	31	27	27	34	16	277
	～500未満	2	13	28	23	36	25	36	34	40	52	29	14	332
	～750未満	0	2	9	4	9	8	5	10	11	16	12	0	86
	～1000未満	1	13	19	13	15	7	14	15	25	28	35	9	194
	～1600未満	1	3	0	1	0	2	1	2	0	1	0	0	11
	～3000未満	2	5	2	3	1	11	2	0	7	9	0	0	42
	3000以上	7	57	38	30	21	33	27	38	37	48	20	3	359
	人数	13	101	117	94	110	116	120	130	147	181	130	42	1,301
	年齢計	243	2,244	3,144	3,004	4,050	4,876	5,626	6,758	8,384	11,209	8,682	3,007	61,227
平均	18.7	22.2	26.9	32.0	36.8	42.0	46.9	52.0	57.0	61.9	66.8	71.6	47.1	
ケミカル	200未満	0	0	2	1	0	0	1	1	1	0	2	1	9
	～500未満	9	29	50	40	50	51	42	68	124	103	87	30	683
	～750未満	1	15	13	9	15	20	12	28	27	25	18	4	187
	～1000未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	～1600未満	0	3	4	1	0	3	1	3	5	2	1	0	23
	～3000未満	0	2	0	2	0	1	1	0	3	0	0	0	9
	3000以上	1	1	1	5	0	1	3	0	0	1	0	0	13
	人数	11	50	70	58	65	76	60	100	160	131	108	35	924
	年齢計	202	1,104	1,894	1,864	2,401	3,216	2,830	5,197	9,158	8,102	7,218	2,530	45,716
平均	18.4	22.1	27.1	32.1	36.9	42.3	47.2	52.0	57.2	61.8	66.8	72.3	49.5	

(年齢構成:船種別詳細②)

		20歳未満	20～25	25～30	30～35	35～40	40～45	45～50	50～55	55～60	60～65	65～70	70以上	計	
特タン	200未満	1	4	3	5	7	10	15	11	18	18	15	16	123	
	～500未満	5	12	10	9	11	14	25	29	22	42	21	8	208	
	～750未満	1	3	12	7	17	12	15	22	21	21	15	2	148	
	～1000未満	1	2	2	1	2	4	1	3	1	0	2	0	19	
	～1600未満	0	3	1	3	1	0	0	2	3	3	1	1	18	
	～3000未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	3000以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	人数	8	24	28	25	38	40	56	67	65	65	84	54	27	516
	年齢計	150	522	759	804	1,403	1,679	2,614	3,488	3,706	5,219	3,600	1,972	25,916	
	平均	18.8	21.8	27.1	32.2	36.9	42.0	46.7	52.1	57.0	62.1	66.7	73.0	50.2	
ガス	200未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	～500未満	0	0	1	2	3	1	9	2	7	12	4	2	43	
	～750未満	4	13	24	18	15	31	25	44	62	57	33	11	337	
	～1000未満	3	32	22	11	17	17	28	22	35	37	21	4	249	
	～1600未満	1	5	9	2	2	1	0	2	4	5	0	0	31	
	～3000未満	2	11	14	8	3	3	5	11	6	6	0	0	69	
	3000以上	1	5	7	6	3	3	4	4	3	0	0	0	36	
	人数	11	66	77	47	43	56	71	85	117	117	58	17	765	
	年齢計	207	1,447	2,058	1,497	1,595	2,362	3,339	4,459	6,673	7,238	3,868	1,226	35,969	
	平均	18.8	21.9	26.7	31.9	37.1	42.2	47.0	52.5	57.0	61.9	66.7	72.1	47.0	
合計	200未満	2	18	35	36	45	49	71	53	62	63	70	44	548	
	～500未満	16	62	101	86	111	107	125	155	214	233	169	59	1,438	
	～750未満	10	51	78	63	86	92	78	146	164	171	105	25	1,069	
	～1000未満	7	58	61	41	38	40	53	53	85	88	73	16	613	
	～1600未満	3	18	18	10	10	13	4	15	20	18	9	3	141	
	～3000未満	9	60	42	37	24	35	27	38	48	42	18	0	380	
	3000以上	24	222	148	106	87	100	111	111	141	140	72	10	1,272	
	人数	71	489	483	379	401	436	469	571	734	755	516	157	5,461	
	年齢計	1,325	10,818	13,015	12,110	14,816	18,362	22,043	29,751	41,904	46,738	34,434	11,335	256,651	
	平均	18.7	22.1	26.9	32.0	36.9	42.1	47.0	52.1	57.1	61.9	66.7	72.2	47.0	



5. 職種別平均年齢(乗・下船船員の合計)

(1) 職種別

職種	船員数	年齢計	平均年齢
船長	1,091	60,812	55.7
一航士	1,001	47,090	47.0
次席一航士	219	10,309	47.1
二航士	765	33,882	44.3
三航士	255	8,817	34.6
小計	3,331	160,910	48.3
甲板長	265	13,939	52.6
甲板手	472	17,839	37.8
甲板員	502	17,862	35.6
見習い	16	535	33.4
司厨員	459	24,233	52.8
小計	1,714	74,408	43.4
機関長	1,060	57,704	54.4
一機士	726	34,741	47.9
次席一機士	62	2,846	45.9
二機士	208	7,563	36.4
三機士	29	706	24.3
小計	2,085	103,560	49.7
操機長	29	1,256	43.3
操機手	48	1,238	25.8
機関員	225	6,914	30.7
見習い	12	275	22.9
小計	314	9,683	30.8
合計	7,444	348,561	46.8

(職種別平均年齢の前年対比)

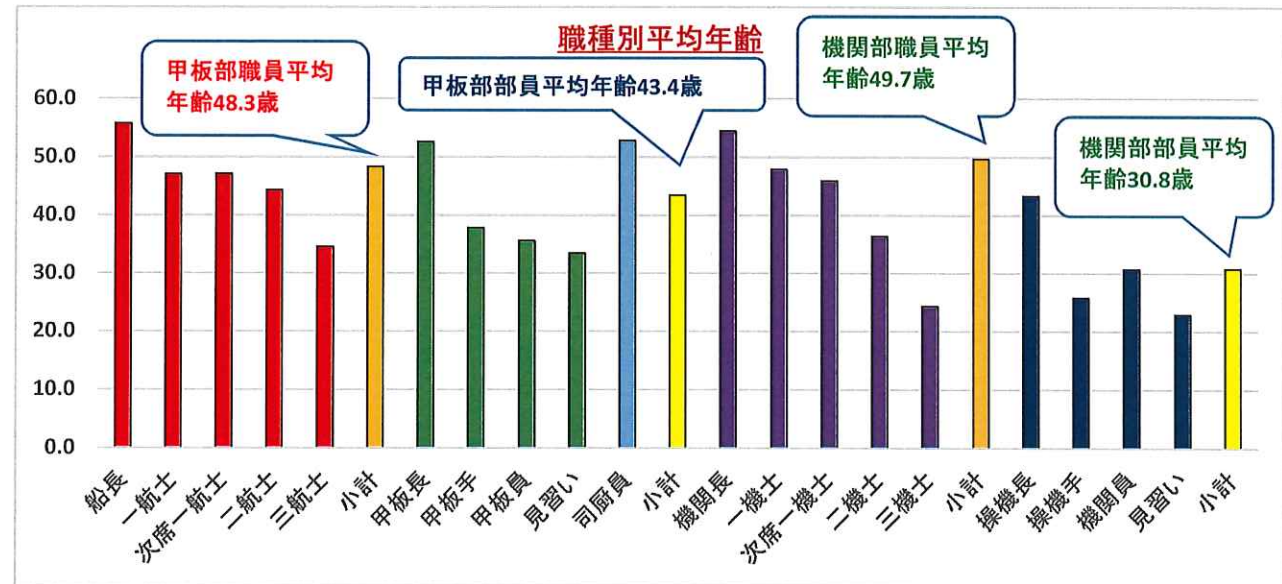
職種	30年度	29年度	対比
甲板部職員	48.3	48.9	-0.6
部員	43.4	43.7	-0.3
機関部職員	49.7	50.3	-0.6
部員	30.8	32.5	-1.7

(2) 航海/機関別

(注)本表中、司厨員は甲板部員に参入

30年度		船員数	年齢計	平均年齢
甲板部	職員	3,331	160,910	48.3
	部員	1,714	74,408	43.4
	小計	5,045	235,318	46.6
機関部	職員	2,085	103,560	49.7
	部員	314	9,683	30.8
	小計	2,399	113,243	47.2
合計		7,444	348,561	46.8

29年度(参考)		船員数	年齢計	平均年齢
甲板部	職員	3,332	162,900	48.9
	部員	1,771	77,428	43.7
	小計	5,103	240,328	47.1
機関部	職員	2,122	106,671	50.3
	部員	296	9,619	32.5
	小計	2,418	116,290	48.1
合計		7,521	356,618	47.4



・平成30年度の職種毎の平均年齢は上表のとおりである。

・前年度平均年齢と比較すると、甲板部職員は0.6歳、甲板部部員は0.3歳、機関部職員は0.6歳、機関部部員は1.7歳下がった。

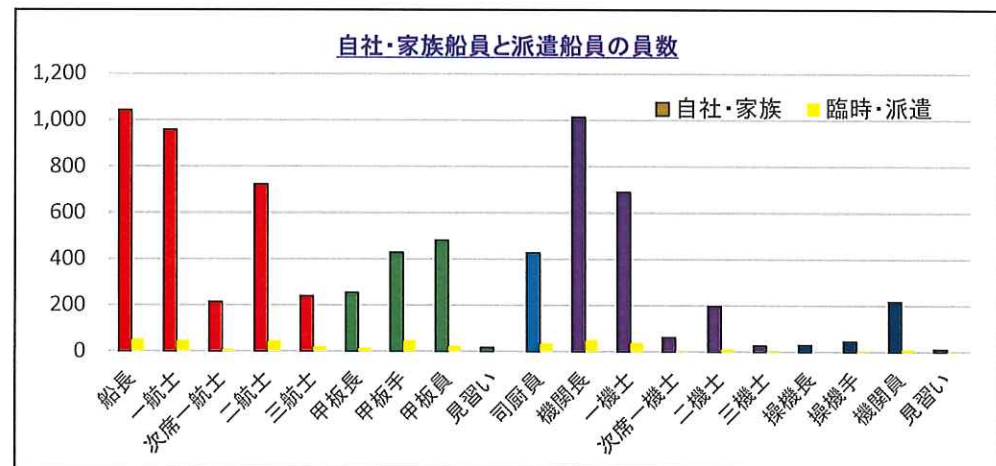
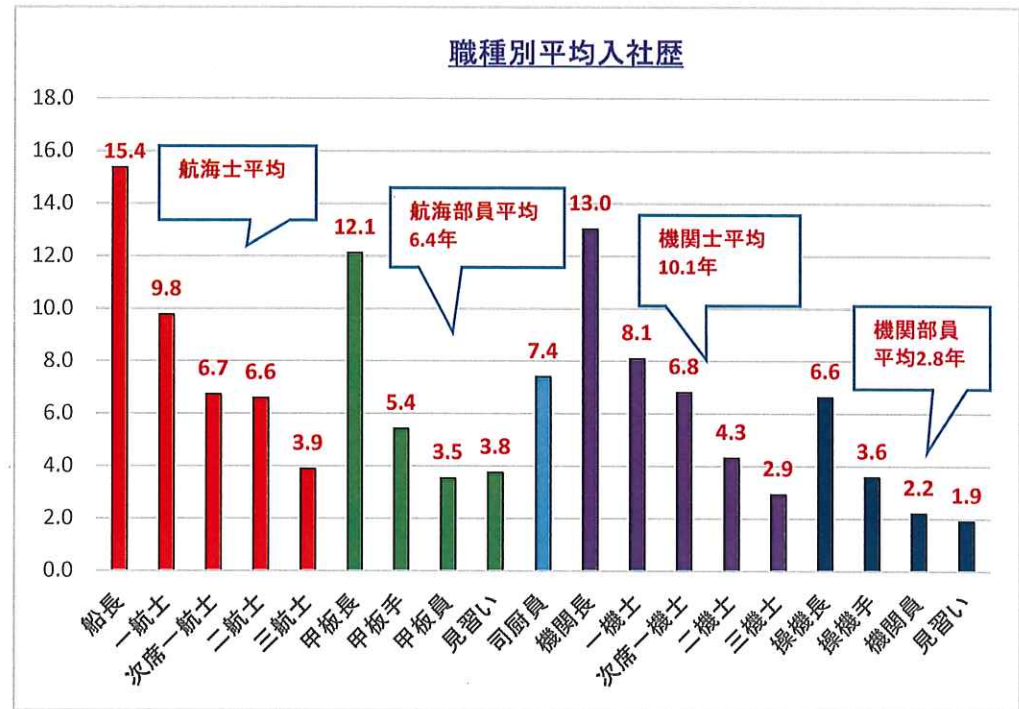
6. 入社歴及び前職

(1) 職種別船員数及び入社歴と雇用内訳(乗・下船合計)

	船員数	内訳(*1)		入社歴計	平均入社歴(*2)
		自社・家族	臨時・派遣		
船長	1,091	1,042	49	16,011	15.4
一航士	1,001	957	44	9,341	9.8
次席一航士	219	213	6	1,432	6.7
二航士	765	722	43	4,753	6.6
三航士	255	238	17	924	3.9
小計	3,331	3,172	159	32,461	10.2
甲板長	265	253	12	3,064	12.1
甲板手	472	427	45	2,313	5.4
甲板員	502	480	22	1,696	3.5
見習い	16	16	0	60	3.8
司厨員	459	426	33	3,149	7.4
小計	1,714	1,602	112	10,282	6.4
機関長	1,060	1,012	48	13,183	13.0
一機士	726	689	37	5,573	8.1
次席一機士	62	61	1	415	6.8
二機士	208	197	11	849	4.3
三機士	29	26	3	76	2.9
小計	2,085	1,985	100	20,096	10.1
操機長	29	29	0	192	6.6
操機手	48	45	3	161	3.6
機関員	225	216	9	475	2.2
見習い	12	11	1	21	1.9
小計	314	301	13	849	2.8
合計	7,444	7,060	384	63,688	9.0

(\*1): 平均入社歴は自社・家族船員のみを対象とした。

・自社・家族船員と臨時・派遣船員の比率は、**自社・家族94.8%**(前年度95.5%)、**臨時・派遣5.2%**(前年度4.5%)で、大きな変動はなかった。





## (2)職種別船員の前職(全船種合計)

職種	専門新卒	一般新卒	タンカー船	ケミカル船	ガス船	特タン	貨物船	外航船員	漁船	その他	未記入	計
船長	89	41	406	195	54	30	63	13	101	75	24	1,091
一航士	141	31	313	149	53	28	63	4	75	122	22	1,001
次席一航士	13	6	79	44	12	2	17	2	13	26	5	219
二航士	144	8	229	79	27	18	68	5	62	110	15	765
三航士	103	4	58	8	5	2	21	3	13	38	0	255
小計	490	90	1,085	475	151	80	232	27	264	371	66	3,331
割合	14.7%	2.7%	32.6%	14.3%	4.5%	2.4%	7.0%	0.8%	7.9%	11.1%	2.0%	100%
甲板長	23	8	96	27	9	5	14	2	34	43	4	265
甲板手	163	13	108	5	8	1	24	2	24	118	6	472
甲板員	126	25	72	14	8	0	19	2	45	190	1	502
見習い	0	3	0	1	0	0	0	0	0	10	2	16
司厨員	13	5	127	12	21	2	20	5	35	212	7	459
小計	325	54	403	59	46	8	77	11	138	573	20	1,714
割合	19.0%	3.2%	23.5%	3.4%	2.7%	0.5%	4.5%	0.6%	8.1%	33.4%	1.2%	100.0%
機関長	71	21	405	157	53	26	74	19	118	91	25	1,060
一機士	103	13	235	107	25	10	62	7	59	93	12	726
次席一機士	7	0	17	9	5	0	0	1	7	13	3	62
二機士	76	4	50	5	7	0	14	2	8	42	0	208
三機士	21	0	4	1	0	0	1	0	0	2	0	29
小計	278	38	711	279	90	36	151	29	192	241	40	2,085
割合	13.3%	1.8%	34.1%	13.4%	4.3%	1.7%	7.2%	1.4%	9.2%	11.6%	16.6%	100%
操機長	6	1	3	4	0	1	2	0	4	7	1	29
操機手	38	0	5	1	0	0	3	0	1	0	0	48
機関員	75	16	24	12	0	2	4	0	10	77	5	225
見習い	3	5	0	0	0	0	0	0	0	4	0	12
小計	122	22	32	17	0	3	9	0	15	88	6	314
総計	1,215	204	2,231	830	287	127	469	67	609	1,273	132	7,444
割合	16.3%	2.7%	30.0%	11.1%	3.9%	1.7%	6.3%	0.9%	8.2%	17.1%	1.8%	100%

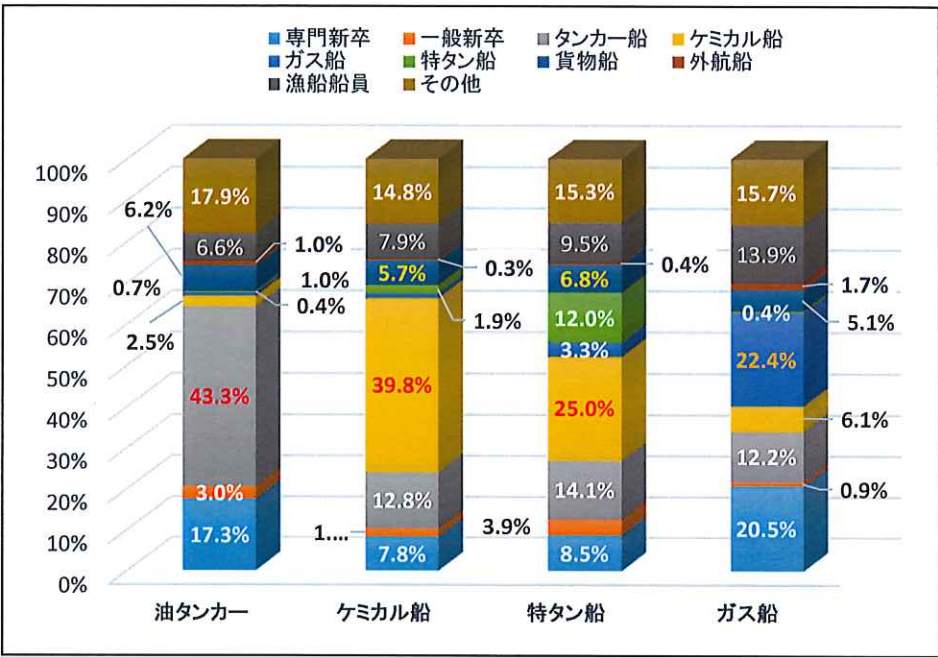
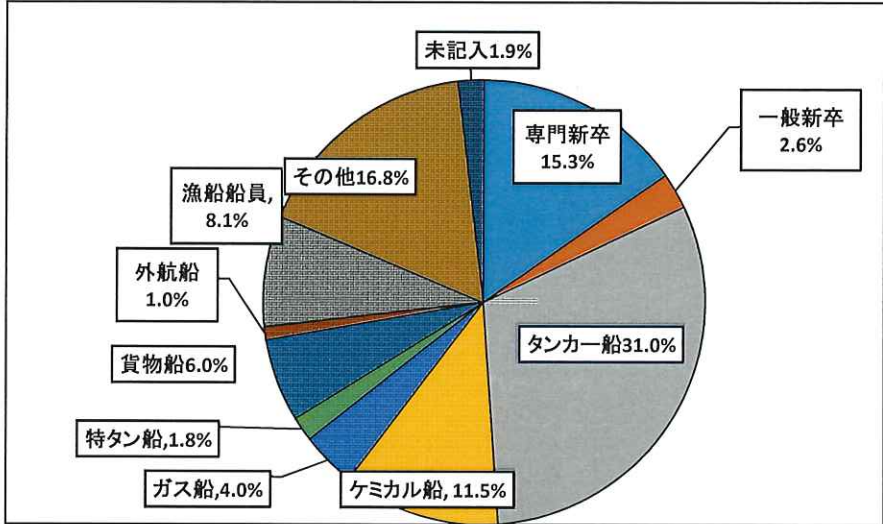
※前職は入社直前の職種を記載している。

※ 前職の上位は、**タンカー経験者30.0%**、その他17.1%、**専門学校新卒者が16.3%**、**ケミカル船が11.1%**、**漁船が8.2%**、**貨物船が6.3%**となっている。

(3) 船種別船員の前職(乗船中)

	専門新卒	一般新卒	タンカー船	ケミカル船	ガス船	特タン船	貨物船	外航船	漁船船員	その他	未記入	計
油タンカー	562	98	1,409	83	24	14	202	34	214	583	33	3,256
ケミカル船	72	18	118	368	9	18	53	3	73	137	55	924
特タン船	44	20	73	129	17	62	35	2	49	79	6	516
ガス船	157	7	93	47	171	3	39	13	106	120	9	765
合計	835	143	1,693	627	221	97	329	52	442	919	103	5,461
比率	15.3%	2.6%	31.0%	11.5%	4.0%	1.8%	6.0%	1.0%	8.1%	16.8%	1.9%	100%

	専門新卒	一般新卒	タンカー船	ケミカル船	ガス船	特タン船	貨物船	外航船	漁船船員	その他
油タンカー	17.3%	3.0%	43.3%	2.5%	0.7%	0.4%	6.2%	1.0%	6.6%	17.9%
ケミカル船	7.8%	1.9%	12.8%	39.8%	1.0%	1.9%	5.7%	0.3%	7.9%	14.8%
特タン船	8.5%	3.9%	14.1%	25.0%	3.3%	12.0%	6.8%	0.4%	9.5%	15.3%
ガス船	20.5%	0.9%	12.2%	6.1%	22.4%	0.4%	5.1%	1.7%	13.9%	15.7%



※油タンカー、ケミカル船は、同じ船種に戻る割合が高く、ガス船もやや低い傾向。

※特タン船は、ケミカル船からの転職者が、特タン船からの転職者を上回っている。



7. 採用・退職関係

(1) 過去10年間の採用及び退職船員統計表

	新卒	中途	採用合計	退職員数	採用員数 - 退職員数
平成21年	128	1,111	1,239	1,207	32
平成22年	143	706	849	1,044	-195
平成23年	106	839	945	1,017	-72
平成24年	195	1,003	1,198	1,069	129
平成25年	198	997	1,195	1,063	132
平成26年	211	1,167	1,378	1,164	214
平成27年	232	986	1,218	1,082	136
平成28年	295	1,217	1,512	1,309	203
平成29年	296	1,116	1,412	1,190	222
平成30年	320	1,069	1,389	1,190	199
合計	2,124	10,211	12,335	11,335	1,000



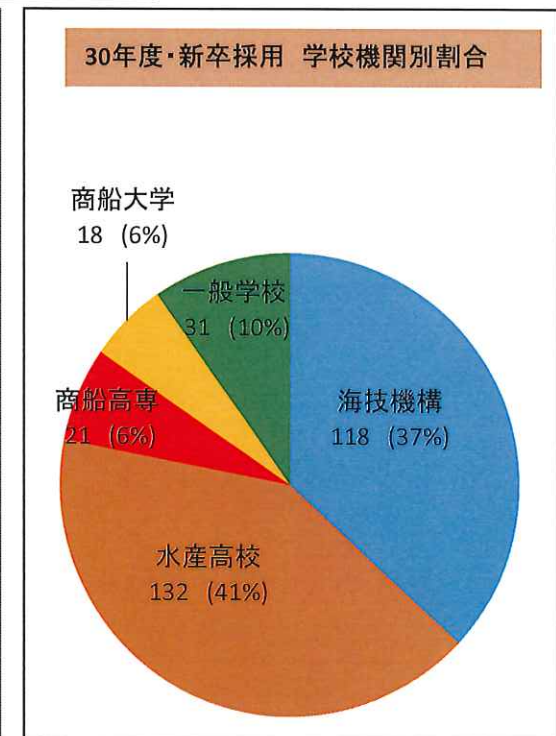
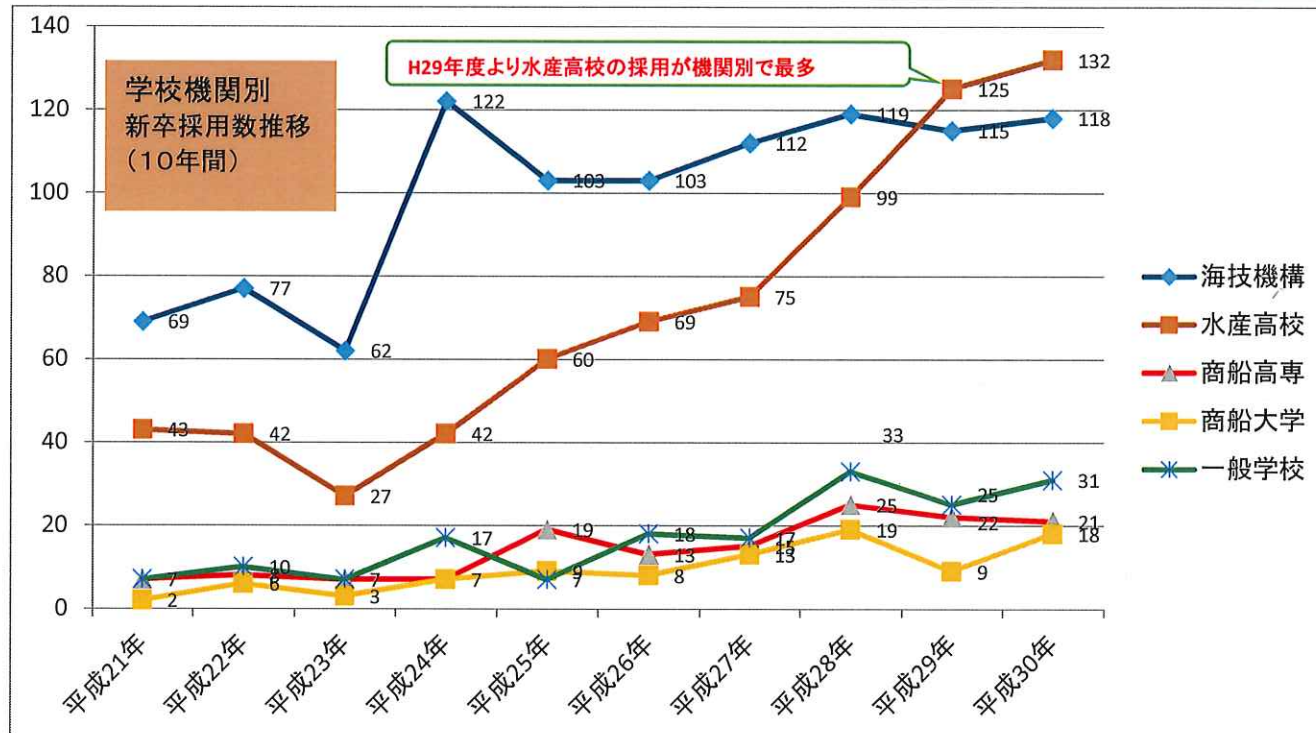
※採用人数12,335名の内、中途採用者は10,211名と全体の82.8%を占めている。

(2)新卒者採用学校別割合及び中途採用者内訳(10年間)

	新卒						中途			合計
	海技機構	水産高校	商船高専	商船大学	一般学校	小計	元船員	船員以外	小計	
平成21年	69	43	7	2	7	128	1,039	72	1,111	1,239
平成22年	77	42	8	6	10	143	649	63	712	855
平成23年	62	27	7	3	7	106	765	74	839	945
平成24年	122	42	7	7	17	195	904	99	1,003	1,198
平成25年	103	60	19	9	7	198	897	100	997	1,195
平成26年	103	69	13	8	18	211	1,008	159	1,167	1,378
平成27年	112	75	15	13	17	232	830	156	986	1,218
平成28年	119	99	25	19	33	295	985	232	1,217	1,512
平成29年	115	125	22	9	25	296	884	232	1,116	1,412
平成30年	118	132	21	18	31	320	872	197	1,069	1,389
合計	1,000	714	144	94	172	2,124	8,833	1,384	10,217	12,341
	47.1%	33.6%	6.8%	4.4%	8.1%	100.0%	86.5%	13.5%	100.0%	

(※1)教育機関別の新卒採用数は、10年間合計では、海技学校・短大が47.1%とほぼ半数だが、平成29年度より水産高校生の採用数が最多となった。

(※2)水産高校採用数132名の内訳 専攻科57名、本科75名 (H30より調査)





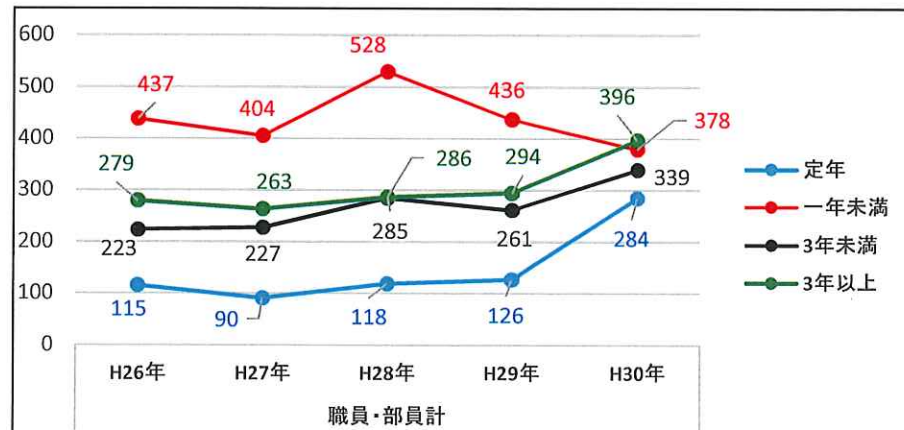
(3) 平成30年度退職状況

	職 員				部 員				職・部員合計					
	甲板	機関	その他	計	甲板	機関	その他	計	甲板	機関	その他	計	比率	
定年	197	42	23	262	4	15	3	22	201	57	26	284	18.8%	
死亡・障害	6	9	6	21	1	2	1	4	7	11	7	25	1.7%	
自己都合	一年未満	0	120	88	208	4	120	46	170	4	240	134	378	25.0%
	3年未満	33	105	63	201	3	96	39	138	36	201	102	339	22.4%
	3年以上	12	178	130	320	5	57	14	76	17	235	144	396	26.2%
会社都合・他	一年未満	15	7	3	25	0	4	3	7	15	11	6	32	2.1%
	3年未満	7	3	5	15	0	1	1	2	7	4	6	17	1.1%
	3年以上	2	12	16	30	1	7	3	11	3	19	19	41	2.7%
計		272	476	334	1082	18	302	110	430	290	778	444	1,512	100.0%

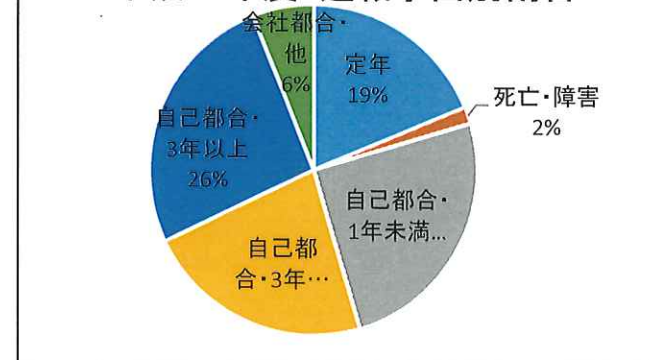
(4) 平成26～30年在籍期間対比(5年間)

(会社都合は除く)

	職員・部員計					計	%
	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年		
定年	115	90	118	126	284	733	12.7%
一年未満	437	404	528	436	378	2,183	37.8%
3年未満	223	227	285	261	339	1,335	23.1%
3年以上	279	263	286	294	396	1,518	26.3%
計	1054	984	1217	1117	1397	5,769	100.0%



平成30年度・退職事由別割合



平成30年度・退職者比率(自己都合)

- ※一年未満25%
- ※一年以上3年未満22%
- ※3年以上26%

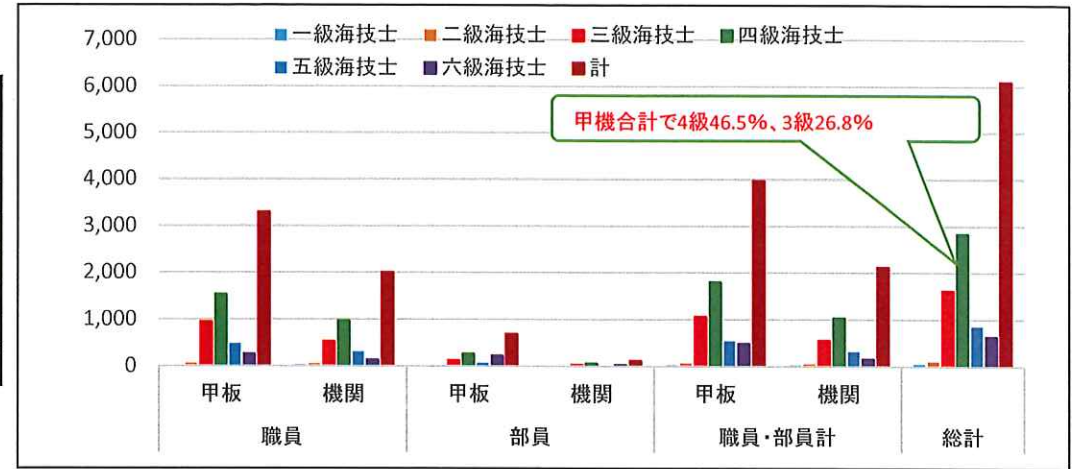
(5年間統計)

- ※平成30年・定年退職者が前年より大幅増(126→284名)
- ※1年未満での退職者は、ここ2年は減少傾向(528→436→378名)

8. 海技免状保有状況

①甲・機別保有者数

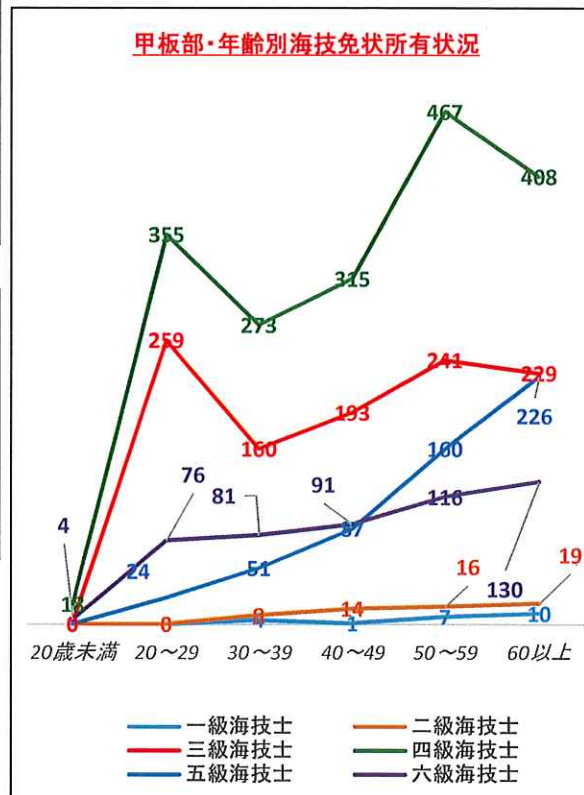
	職員		部員		職員・部員計		総計	比率
	甲板	機関	甲板	機関	甲板	機関		
一級海技士	20	26	2	0	22	26	48	0.8%
二級海技士	55	44	2	0	57	44	101	1.7%
三級海技士	942	529	122	24	1,064	553	1,617	26.5%
四級海技士	1,538	971	266	61	1,804	1,032	2,836	46.5%
五級海技士	478	303	64	8	542	311	853	14.0%
六級海技士	261	131	225	21	486	152	638	10.5%
計	3,294	2,004	681	114	3,975	2,118	6,093	100.0%



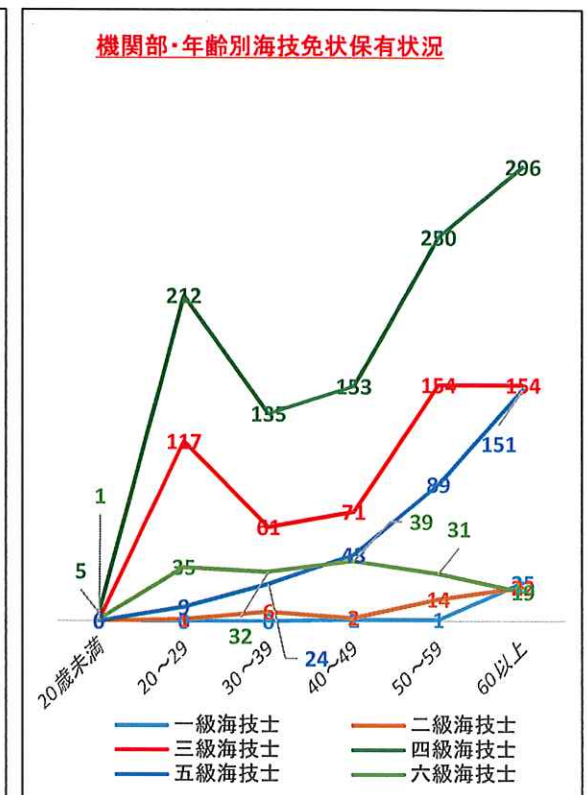
②年齢別保有数

イ)航海士

	20歳未満	20~29	30~39	40~49	50~59	60以上	計
一級海技士	0	0	4	1	7	10	22
二級海技士	0	0	8	14	16	19	57
三級海技士	0	259	160	193	241	229	1,082
四級海技士	18	355	273	315	467	408	1,836
五級海技士	0	24	51	87	160	226	548
六級海技士	4	76	81	91	116	130	498
計	22	714	577	701	1,007	1,022	4,043



機関部・年齢別海技免状保有状況



ロ)機関士

	20歳未満	20~29	30~39	40~49	50~59	60以上	計
一級海技士	0	0	0	1	1	25	27
二級海技士	0	1	6	2	14	22	45
三級海技士	0	117	61	71	154	154	557
四級海技士	5	212	135	153	250	296	1,051
五級海技士	0	9	24	43	89	151	316
六級海技士	1	35	32	39	31	19	157
計	6	374	258	309	539	667	2,153

※甲板部・機関部とも4級、3級海技士が主流

※6級海技士の部員の所有状況は甲板225名に対し機関21名と少ない。

9. 船舶料理士免許保有状況

	所有	未所有	司厨員計	所有割合
乗船中	197	75	272	72.4%
下船中	92	30	122	75.4%
計	289	105	394	73.4%

※未回答、又は甲板、機関免状を記載した回答は集計除外(65名)



10. 船員不足の考察

① 船型別隻数/乗船中船員数(有効回答数)

年度	200GT未満			500GT未満			750GT未満			1000GT未満			1600GT未満			3000GT未満			3000GT以上			合計		
	隻数	員数	平均員数	隻数	員数	平均員数	隻数	員数	平均員数	隻数	員数	平均員数	隻数	員数	平均員数	隻数	員数	平均員数	隻数	員数	平均員数	隻数	員数	平均員数
26	160	552	3.5	211	1,083	5.1	161	1,075	6.7	61	544	8.9	23	226	9.8	45	477	10.6	110	1,237	11.2	771	5,194	6.7
27	164	520	3.2	229	1,132	4.9	158	1,012	6.4	54	475	8.8	22	212	9.6	44	461	10.5	100	1,115	11.2	771	4,927	6.4
28	188	622	3.3	257	1,338	5.2	166	1,105	6.7	66	602	9.1	17	174	10.2	40	429	10.7	115	1,315	11.4	849	5,585	6.6
29	165	575	3.5	248	1,320	5.3	164	1,101	6.7	70	620	8.9	16	158	9.9	40	443	11.1	116	1,356	11.7	819	5,573	6.8
30	159	548	3.4	270	1,438	5.3	156	1,069	6.9	69	613	8.9	14	141	10.1	35	380	10.9	110	1,272	11.6	813	5,461	6.7
計	836	2,817	3.4	1,215	6,311	5.2	805	5,362	6.7	320	2,854	8.9	92	911	9.9	204	2,190	10.7	551	6,295	11.4	4,023	26,740	6.6

※平成30年度の各船型の平均乗員数は、5年間の平均員数は上回っているものの、前年より乗員数が下回っている船型も見受けられる。

② 予備員率

年度	乗船中	下船中	計	予備員率
26	5,194	1,805	6,999	1.35
27	4,927	1,751	6,678	1.36
28	5,585	1,997	7,582	1.36
29	5,573	1,948	7,521	1.35
30	5,461	1,983	7,444	1.36
計	26,740	9,484	36,224	1.35

※予備員率は5年間平均で1.35で、5年間  
は同じ傾向。

③ 臨時・派遣船員数と比率

年度	合計 船員数	自社・ 家族 船員数	臨時・ 派遣 船員数	臨時・ 派遣 比率
26	6,999	6,632	367	5.2%
27	6,678	6,337	325	4.9%
28	7,578	7,248	330	4.4%
29	7,521	7,185	336	4.5%
30	7,444	7,060	384	5.2%
計	36,220	34,462	1,742	4.8%

※臨時・派遣船員割合は5年間平均で4.8%、  
30年度は5.2%で、平均を上回る。

④ 臨時・派遣船員の職種別内訳

年度	職員 (甲)	部員 (甲)	職員 (機)	部員 (機)	計	職員 (甲機) 割合
26	143	110	104	10	367	67.3%
27	118	106	93	8	325	64.9%
28	119	115	88	8	330	62.7%
29	120	114	89	13	336	62.2%
30	159	112	100	13	384	67.4%
計	659	557	474	52	1,742	65.0%
割合	37.8%	32.0%	27.2%	3.0%	100.0%	

※臨時・派遣船員は6割以上が職員として就労、機関に限れば約9割。

(考察)

1. 安全最小定員数と実乗船員数

船員法等を遵守する最小船員数は、航海時間16時間超500トン未満の法定定員は、航海士2名+1名(航海当直要員)、機関士2名の計5名となる。さらに着離棧、荷役作業を考慮すると最低6名は必要となる。500トン未満船の5年間平均での実乗船員数は5.2名となっており、ギリギリの員数で運航している船舶が多数あるものと推測される。

2. 予備員数

平成30年度の予備員率は上表のとおり1.36(5年間平均1.35)である。年間休日110日(休暇105+乗下船5)を付与するための理想の予備員率を1.43として逆算すると約360名が不足していることとなる。また、この値を推計船員数8,946名(乗船中6,563名、下船中2,383名)で置き換えると、約440名の不足となる。

3. 臨時・派遣船員

平成30年度は、384名の船員が派遣され、特に、甲・機職員への派遣が6割以上を占めている。言い換えれば、384名の船員が自社で賄えない不足した船員と捉えることも出来る。今後は、退職船員の増加により派遣船員の供給不足も考えられ、停船を余儀なくされる船舶が増加することが危惧される。上表③では派遣船員比率は毎年5%前後となっているが、未回収船舶は派遣割合が高いとの推測もあり、より正確な実態把握には回収率の向上が課題である。

4. 船員不足への対応

船員不足の実態は、乗船定員、予備員率、船員派遣等、各々の調査結果に現れている。この結果に危機感をもって、若年船員確保や高齢船員活用等への対応を図る必要がある。

## 11. 組合員各社に向けての提言

- (1) 小型船の船員確保対策は、船主、オペレーターが協力して実施する必要がある。
- (2) ベテラン船員の多数退職によりレベル低下が懸念され、技術の伝承を早急に行う必要がある。
- (3) 新卒採用数の増加と併行して、若年船員の退職防止と業界内へのつなぎとめ対策を図る必要がある。
- (4) 女性船員の確保・活用をさらに進める必要がある。
- (5) 船員年齢層の大きな山が60歳以上へと移行していく中、安全確保のため労務の分担見直しと軽減をさらに進める必要がある。
- (6) 官学民で検討が行われている、内航船員の働き方改革の議論について注視していく必要がある。

以上